

河川10 石手川ダム(愛媛県)

No.	資料名	ストック効果に関する記述
愛媛1	建設省四国地方建設局松山工事事務所編「松山工事四十年史」(四国建設弘済会、1985年)、232頁	石手川ダム周辺環境整備事業 (中略) 石手川ダムは、重信川水系石手川の松山市宿野町地先に、洪水調節、かんがい用水、及び上水道用水の補給を目的とする多目的ダムとして建設された貯水池面積50ha、湖岸延長11kmのダムである。直下流約2kmの地点には、渓谷の自然を生かした遊園地と温泉を中心とする観光地”奥道後”があり、四季を通じて観光客が絶え間なく、また40万都市である松山市民の憩いの場として年中にぎわっている。 こうした位置にある石手川ダムは、完成直後からすでにレクリエーション適地として一般大衆に親しまれており、小中学校の見学なども多い。
愛媛132	愛媛県土地改良事業団体連合会編「愛媛の土地改良史」(愛媛県、1986年)、614頁	石手川ダム周辺環境整備事業 石手川ダムは、貯水池面積50ha、湖岸延長11km。直下流約2kmの地点には、渓谷の自然を生かした遊園地と温泉を中心とする観光地、”奥道後”があり、四季を通じて観光客がある。また40万都市松山市民の憩いの場として年中にぎわっている。それでレクリエーション適地としてダム周辺の環境整備事業がなされている。
四国1	四国の建設のあゆみ編纂委員会編「四国の建設のあゆみ」(四国建設弘済会、1990年)、666-667頁	石手川ダム周辺環境整備事業 石手川ダムの直下流約二キロメートルの地点には、渓谷の自然を生かした遊園地と温泉を中心とする観光地「奥道後」があり、四季を通じて観光客が絶えることなく、また四〇万都市である松山市民の憩いの場として年中にぎわっている。 こうした位置にあるダムは、完成直後からすでにレクリエーションの適地として、一般大衆に親しまれており、小・中学生の見学なども多い。 (中略) 石手川ダムは、これらの環境整備と、「しらさぎ」の伝説に由来して、湖名を「しらさぎ湖」と命名し、その美しい湖面とともに年間約一〇万人に及ぶ多くの市民のやすらぎの場所として親しまれている。
四国2	建設省四国地方建設局監修「四国地方建設局三十年史」(四国建設弘済会、1988年)、281頁	石手川ダム周辺環境整備事業 (中略) 石手川ダムは、松山市及び観光地奥道後に近い事等もあり、四季を通じて観光客の絶える間がなく、40万都市である松山市民の憩いの場として賑わっている。